

研究集会報告「OD 法こと始め：OD 法の計画設計の確立期とその変遷」

22/7/1 NP021 世紀水倶楽部

1. 開催趣旨

OD 法は小規模下水処理場の大部分が採用している処理方式です。大都市で採用されている標準活性汚泥法とその変法に比べ、維持管理が容易であるなど、小規模施設向けの利点を有するといわれています。現在、OD 法の処理場は供用開始から 20～25 年を迎え、電気、設備機器の更新時期を迎えています。小規模な自治体は急激な人口減少に直面し、OD 法の更新計画を、将来を見越した合理的なものとする必要があります。

わが国で OD 法が広く普及したのは、昭和 62 年、日本下水道事業団がオキシデーションディッチ法設計指針（案）をとりまとめ、更に数次にわたって設計指針を改訂していったことが要因です。しかし、昭和 62 年以前にも、いくつかの OD 法処理場が、ユニークな視点から設計、運転されています。本研究集会は、OD 法の黎明期、日本下水道事業団による計画設計の初期、確立期を振り返り、OD 法の原理を再確認いたします。そのことによって、将来の OD 法の在り方に大きなヒントが得られることを期待しています。

2. 開催日時 令和 4 年 7 月 1 日（金）14：00 - 16：45

3. 開催方法 会場および Zoom でのオンライン開催

4. 参加人数 会場 37 名、オンライン 80 名、合計 117 名

5. 会場 全水道会館

6. プログラム 司会 理事 高橋正宏

(1) 挨拶 栗原理事長

(2) 事例報告

①「苫小牧市における OD 法の導入経緯と運転経験」

元苫小牧市副市長 中野 裕隆 氏

[講演記録](#) [講演資料](#)

②「JS による法技術評価」

積水アクアシステム株式会社 木全 隆 氏

[講演記録](#) [講演資料](#)

③「日本下水道事業団における OD 法設計基準類の変遷」

(株) 極東技工コンサルタント 中沢 均 氏

[講演記録](#) [講演資料](#)

(3) 総合討論

コーディネーター 理事 高橋正宏

[討論記録](#)